

Information

インフルエンザ感染情報

学術データインフォメーション課

インフルエンザの型は、核蛋白(NP)と膜蛋白(M)の抗原性から「A型」「B型」「C型」に大別されます。

A型の特徴	B型の特徴	C型の特徴
①ウイルス粒子表面の糖タンパクの組み合わせにより多くの亜型※にわかれます。 ②人と動物の共通感染症で、多種の宿主をもっています。 特にカモは、すべての HA 亜型、NA 亜型を保有し、運び屋として注目されています。	①A型同様の糖タンパクを持っていますが、1つの亜型※しかありません。 ②B型の主な宿主はヒトで、まれにアザラシに感染すると言われています。	①HE(ヘマグルチニンエステラーゼ)と呼ばれる糖タンパクと1つの亜型しかありません。 ②C型の主な宿主はヒトで、大きな流行は起こさないとされています。まれにブタに感染するといわれています。

※亜型:HA(赤血球凝集素)15種類とNA(ノイラミニダーゼ)9種類の組み合わせ
例) Aソ連型(H1N1)…HAが1、NAが1という番号の組み合わせ
A香港型(H3N2)…HAが3、NAが2という番号の組み合わせ

グラフの特徴

- 年々感染ピークが1ヶ月伸びています。
- 例年に比べ平成16年度はB型からA型への流行がみられました。

